



映画美学校

脚本コース

第12期初等科(前期)

2022/4/28—2022/10/8

[募集要綱]

CINEMA PLEX

ユーススペース

MOVIE HOUSE

映画美学校

映画美学校

映画美学校はアテネ・フランセ文化センターとユーロスペースとの共同プロジェクトとして1997年にスタートし、2000年に特定非営利活動法人(NPO)となりました。映画美学校は、映画制作におけるプロダクション機能を持った映画学校です。これまでに受講生、修了生、講師により160本を越える長・中・短編映画がつくられ、多くの映画作家を輩出してまいりました。映画美学校の脚本コースは、日々映画がつくられている場所でのシナリオ講座です。

講座概要

講師はすべて現役で活躍する脚本家です。

業界の最前線で活躍する講師陣が考えた実践的なカリキュラムで、プロとして活躍するための実力を身につけることができます。

どこにいても受講可能!オンライン講義を実施。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンライン配信で講義を行います(共通講義は状況により通学講義もあり。その場合は通学・オンラインをお選び頂けます)。世界中から受講することが可能となりました。

生活サイクルに合わせ、日曜、平日夜とクラスが選べます。

脚本コースでは、お忙しい方でも気軽に受講出来るよう、週1回のクラス別講義と、土曜日に月2回程度の共通講義を行います。クラス別講義は生活サイクルに合わせて木曜夜と日曜から選べます。

2年間のカリキュラムを半年ごとに受講出来ます。

脚本コースでは、全2年間のカリキュラムを、初等科・高等科それぞれ前期と後期にわけ、半年ごとのタームで受講が出来ます。

【初等科では脚本の基礎を実践的に学びます。

初等科前期では、脚本の基礎となる理論を学び、5分および15分で完結するミニドラマを書く技術を習得します。これは、全てのドラマの基本となる型を体得する演習です。また、そのミニドラマを受講生自身の手で撮影する実習も行い、シナリオが実際に映像化される過程を学びます。初等科の後期では、前期で習得した基礎を踏まえ、30分のオリジナルドラマの企画開発を体験します。

【高等科はより専門性の高いカリキュラムになっています。

高等科はプロの脚本家になるためのより専門的なカリキュラムで構成されています。前期では60分尺のシナリオ、後期では90分程度のシナリオ執筆を行います。講義内で執筆された優秀作品は「シナリオ集」として刊行。プロで活躍するプロデューサー、映画監督が自由に閲覧出来るようにします(著作権の権利は責任を持って守ります)。

■ 共通講義では脚本家に必要な企画開発力と、シナリオにおける様々なスキルを学びます。

プロの脚本家として自立するためには、スポンサーやプロデューサー、監督からの様々な要求に柔軟に対応できる能力が必要となります。同時に、新たな企画を発信出来る企画開発能力が問われる時代になっています。共通講義では、「企画開発論」の講義の他、シナリオにおける様々なスキルを学んでいきます。

またレギュラー講師の他、最前線で活躍する作り手たちをゲストにお招きし、講義を行います。

今までのゲスト (一部/敬称略)



奥寺佐渡子『おおかみこどもの雨と雪』



大根仁『バクマン。』『モテキ』



喜安浩平『桐島、部活やめるってよ』



向井康介『モラトリアムたま子』『愚行録』

■ 脚本の執筆と映像化がリンクした画期的なカリキュラムです。

従来のシナリオ講座は、紙の上での指導に偏りがちでした。しかし、映画美学校の脚本コースでは、紙の上にしたものがどのように映像化されていくかということを受講生ひとりひとりが学べるカリキュラムになっています。

■ 優秀脚本の映像化プロジェクト！

今までに3作品が制作、劇場公開されています。

『ただいま、ジャクリーン』（監督：大九明子/脚本：村越繁/2013）

『イヌミチ』（監督：万田邦敏/脚本：伊藤理絵/2013）

『坂本君は見た目だけが真面目』（監督：大工原正樹/脚本：鳥井雅子/2014）



第1期初等科作品
『ただいま、ジャクリーン』

■ 修了生はプロで活躍中です。

川又り絵：Amazon Prime Video「pet」

鈴木洋介：テレビアニメ「ドラえもん」（第1期修了生）

平谷悦郎：映画『ゴーストマスク 傷』（第1期修了生）

村越繁：テレビアニメ「ゾンビランドサガ（シリーズ構成）」

「群れなせ！シートン学園（シリーズ構成）」（第1期修了生）

安永豊：テレビアニメ「バビロン」「僕だけがいない街」（第1期修了生）

山田哲弥：映画『シドニアの騎士 あいつむぐほし』（第1期修了生）

吉田香織：映画『殺人鬼を飼う女』（第2期修了生）

下田悠子：映画『夏、至るころ』ドラマ「捨ててよ、安達さん。」

「ねえ、先生知らないの」（第4期修了生）



2012年度高等科
コラボレーション作品
『イヌミチ』



第2期初等科作品
『坂本君は
見た目だけが真面目』

■ 高等科後期修了生を対象に「プロット・コンペティション」を開催

プロで活躍するプロデューサーに自身の企画をプレゼンする「プロット・コンペティション」を毎年開催。

毎年3作品が最優秀作品に選ばれ、それぞれ映像化に向けて動いています。

2016年プロット・コンペティション最優秀作品『ばあちゃんロード』上村奈帆（第4期修了生）

DVD発売&絶賛レンタル中！



主任講師

メッセージ

新しいエンターテインメントを目指す「現場」がここにある！

高橋洋（脚本家・映画監督）

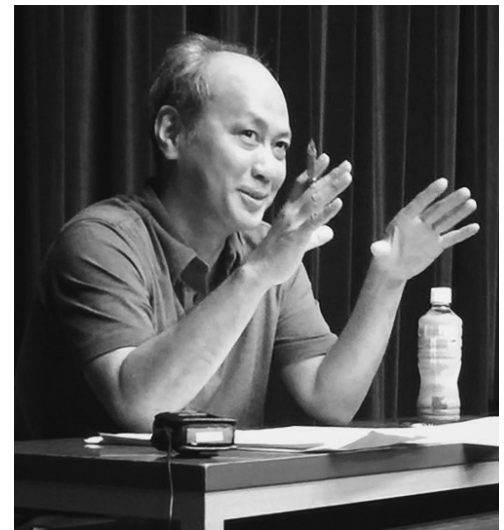
映画には必ず主人公がいる。

映画に限らない、物語を扱うすべてのメディアにこれは当てはまる。主人公はたいがい、何か克服せねばならない「問題」を抱えている。僕たちの日常生活だってそうだ。みんな何かしら問題を抱えている。でも、他人が抱える問題に誰も興味を持つとはしない。自分のことで精一杯だ。

ところが不思議なことに、映画を見始めると、赤の他人の主人公が抱える「問題」がまるで我がことのように感じられる。

そして「問題」がついに克服される瞬間を見届けたいと思う。

これがエンターテインメントの骨法なのである。



この学校はみなさんと一緒に新しい時代のエンターテインメントを開発することを目指している。

魅力的な「問題」を発見して欲しい。

そしてそれをいかに観客に届けるか、講師たちと探求する「映画作りの現場」を体験して欲しい。

高橋洋 TAKAHASHI Hiroshi

1959年生まれ。学生時代は早大シネマ研究会に所属、『夜は千の眼を持つ』など8ミリ作品を発表。映画同人誌「映画王」の編集にたずさわる。90年に森崎東監督のテレビ作品『離婚・恐婚・連婚』で脚本家デビュー。主な脚本作品に、中田秀夫監督『女優霊』（95）『リング』（98）『リング2』（99）、北川篤也監督『インフェルノ蹂躞』（97）、黒沢清監督『復讐 運命の訪問者』（96）『蛇の道』（98）『予兆 侵略する散歩者』（17）、佐々木浩久監督『発狂する唇』（99）『血を吸う宇宙』（01）、鶴田法男監督『リング0バースデイ』（00）『おろち』（08）がある。なかでも『リング』シリーズは大ヒットを記録、世界に「ホラーブーム」を巻き起こした。04年『ソドムの市』で長編初監督。他の監督作に『狂気の海』（07／映画美学校フィクション・コース第9期高等科生とのコラボレーション作品）、『恐怖』（10）、『旧支配者のキャロル』（11／フィクション・コース第13期高等科生とのコラボレーション作品、映画芸術2012年ベスト4）、『霊的ポリシェヴィキ』（17／フィクション・コース第19期高等科生とのコラボレーション作品）など。編著書に「大和屋竺ダイナマイト傑作選 荒野のダッチワイフ」（フィルムアート社）、「映画の授業」「映画の魔」（青土社）、稲生平太郎との共著「映画の生体解剖」（洋泉社）、脚本集「地獄は実在する」（幻戯書房）がある。脚本最新作は三宅唱監督『Netflixオリジナルシリーズ 呪怨：呪いの家』（20）、監督最新作は現在オンライン公開中の『うそつきジャンヌ・ダルク』（21）。



共通講義

土曜日に行われる共通講義（全10回）は、初等科、高等科共通の講義となります。

■「企画を発想する」（高橋洋）

プロの脚本家はネタに対してどのように反応し、企画の形にしてゆくのか。これは企画になる、という手応えをどのようにして呼び込んでいるのか。受講生からとっかかりとなるネタを出して貰って、それを題材にプレストし、企画開発のシミュレーションを実演してみます。プレストは無責任かつくだらないアイデア大歓迎。これは頭をいかに柔軟にするかの実践的な訓練でもあります。近年の映画の予告編を題材に、それが面白い企画になり得ているかどうかのディスカッションもしてみます。ここで培った発想力を、クラス講義でのシナリオ開発に役立ててください。また、業界で活躍中のゲスト講師を招き、手がけた作品の企画開発をめぐって質疑応答なども行います。

講義は基本オンラインで行いますが、状況により登校と併用の場合もあります。



木曜夜クラス担当講師メッセージ

宮下隼一（脚本家）



「こんにちは」「こんばんは」など、
気も利いていなければ格好よくもおしゃれでもないセリフが、
あるべき時にあるべき場所であるべき人物の口から発せられると、
観る人の胸をとてつもなく痛く切なくそして楽しく射抜くことがあります。
シナリオが『建築設計図』にたとえられる所以です。

ではそんなシナリオは、誰のために、なんのために書かれるのか？
講義はそこから始まります。

その答えを知ってなお、書きたい、書きたいことはあるのに書き方がわからない、そんなあなたを待っています。

宮下隼一 MIYASHITA Junichi

1956年長野県生まれ。今村昌平監督が設立した横浜放送映画専門学院（現日本映画大学）の一期生。卒業後TV映画の助監督として活動後、伝手を頼って石原プロモーションに複数のプロットを持ち込み、そのうちの一本を同社制作の新番組「西部警察」第七話として自らシナリオ化、ライターデビューする。日本を代表するハードボイルド映画脚本家、故永原秀一氏に師事。以降、石原プロ作品のほか、「特捜最前線」など刑事ものやサスペンスものを多数執筆、「仮面ライダーブラック」から特撮作品にも関わり、「キャッツアイ」からアニメーション、「バイオハザード」などゲーム作品のシナリオも執筆する。近年は、小説や演劇、イベント脚本も執筆している。脚本最新作は、テレビアニメ「名探偵コナン」名探偵コナン 本庁の刑事恋物語 特別編集版「キングダム」、イベント最新作は『コナン・ザ・エスケープ2022 ハロウィンの花嫁(仮題)』『名探偵コナン ミステリーレストラン2022』（2本とも、ユニバーサルスタジオジャパンにて今春より開催予定）。

【代表作】<テレビ>「西部警察PartI～III」（79～84）、「特捜最前線」（77～87）、「ベイシティ刑事」（87～88）、「ゴリラ警視庁捜査第八班」（89～90）、「代表取締役刑事」（90～91）、「愛しの刑事」（92～93）、「仮面ライダーブラック」（88～89）、「特捜ウィンスペクター」（90～91）、「特捜エクシードラフト」（92～93）、「ブルースワット」（94～95）、「重甲ビーファイター」（95～96）、「忍風戦隊ハリケンジャー」（02～03）、「火曜サスペンス劇場 狙われて」（89）、「火曜サスペンス劇場 殺意に抱かれて」（92）ほか<映画>横山博人監督『恋はいつもアモンドピンク』（88）、細野辰興監督『激走トラッカー伝説』（91）『犯人（ホシ）に願いを』（95）、鶴田法男監督『ゴト師株式会社II』（94）ほか<ビデオ映画>岡本明久監督『女バトルコップ』（90）、長谷部安春監督『ベイサイド・バイオレンス群狼』（91）、辻理監督『真・仮面ライダー序章』（92）ほか <アニメ>「キャッツ・アイ」（83～85）、「ルパン三世PartIII」（84～85）、「名探偵コナン」（96～）、「幕末機関説いろはにほへと」（06～07）、「まじっく快斗」（10～12）ほか <ゲーム>「バイオハザードCODE:Veronica」、「探偵神宮寺三郎KIND OF BLUE」ほか <小説（電子出版）>「湾岸蒼国記」、「餓（かつ）える心臓の往くところ」ほか <演劇>「爪とツメ」ほか <イベント>「リアル脱出ゲーム コナン・ザ・エスケープ」シリーズ

【脚本コース初等科 夜（宮下）クラスの受講必要条件】

- ・提出原稿はWordファイル使用可能なワープロソフトを使用のこと。手書き不可
- ・インターネット環境があること。メールとクラウドを使います。
- ・開講前に、「事前課題」（詳細未定。初回講義で講評）の提出をしてもらいます。

木曜夜クラス(宮下準一クラス)カリキュラムについて

毎週木曜 19:00～21:30

回数	日付	講義	課題・その他
1	4/28	シナリオとは① 形式と書き方	「事前課題」の講評 次回課題の提示
2	5/5	シナリオとは②	提出課題の講評 次回課題の提示
3	5/12	ストーリーとは① ネタの拾い方	同上 次回課題(2分半課題のネタ・アイデア)
	5/14	※共通講義1	
4	5/19	ストーリーとは② ミステリー的思考	同上
5	5/26	プロットとは① 作り方	同上 次回課題(同上のストーリー・プロット)
	5/28	※共通講義2	
6	6/2	プロットとは② 伏線と回収	同上
7	6/9	キャラクターとは① 主役	同上 次回課題(同上のシナリオ)
8	6/16	キャラクターとは② 悪役 仇役 脇役	同上
	6/18	※共通講義3	
9	6/23	セリフとは① セリフは嘘をつく	同上
10	6/30	セリフとは② 説明しない/5分課題の制作実習について	撮影実習:概要説明/シナハン 次回課題(5分課題のネタ・アイデア)
	7/2	※共通講義4	
11	7/7	まとめ① 視点 映像としての言葉/5分課題撮影実習にむけて	提出課題の講評 次回課題(5分課題のプロット～シナリオ)
	7/9	※共通講義5	
12	7/14	まとめ② 作家の独自性/5分課題:シナリオ選考・班分け・ミーティング	提出課題の講評
	7/16	※共通講義6	
	7/21	まとめ③ 作品の独自性/5分課題・撮影準備(※)	撮影に向けての準備
13	7/28・30・31	5分課題:撮影実習(※)	撮影候補日
	8/4	5分課題:編集(※)	
14	8/11(祝)	5分課題 完成上映会	講評 次回課題(15分課題のネタ・アイデア)
15	8/18	15分課題に向けて①	提出課題の講評 次回課題(同上のプロット)
16	8/25	15分課題に向けて②	同上 次回課題(同上のシナリオ)
	8/27	※共通講義7	
17	9/1	15分課題に向けて③	同上
	9/3	※共通講義8	
18	9/8	15分課題に向けて④	同上
	9/10	※共通講義9	
19	9/15	15分課題に向けて⑤	同上
	9/20(火)	木曜クラス15分課題締め切り(講義なし・メールでの提出)	
20	9/22	総まとめ プロの現場の実際	クラス段階での15分課題の講評
	10/8	※共通講義10/15分課題講評会	

※5/5、8/11は祝日ですが講義を行います。※5分課題の撮影実習は、候補日のうち2日が撮影日とする予定です。「撮影準備」「撮影実習」「編集」では、班ごとに準備・実習・編集を行います。※「共通講義10/15分課題講評会」は、両クラス担当講師及び高橋洋主任講師の3名による優秀シナリオの選考・講評会となります。

日曜クラス担当講師メッセージ

佐藤佐吉 (脚本家・映画監督・俳優)



僕は23歳までやや映画が好きという程度の青年で、レンタルビデオ全盛時代を向かえ見知らぬ映画たちの強烈な洗礼を受け、今の時代のようにSNSなどなかったので感想を分かち合える友人を探していたら、新聞で藤本義一さん主催の『心斎橋大学』という構成作家・脚本家養成講座を知り、そこで初めて脚本というものに触れ、さらに映画にのめり込みました。仕事をしながら1年間真面目に通って地方ドラマ脚本の奨励賞を受賞しました。

講座はもう一年間あったのですが、すぐに脚本家になれると思って会社を辞め上京しましたが、デビューできたのはそれから10年後でした。全然まだまだ力が足りてなかったんですね。

プロを目指すのは厳しい道のりかもしれませんが、でも自分は絶対に面白い脚本を書くという決意と粘りさえあればどうにかかります。

僕もまだまだ修行中の身ですが一緒に頑張っていきましょう。

佐藤佐吉 SATO Sakichi

1964年生まれ。大阪府出身。大学卒業後、キネマ旬報社及び西友映画事業部に所属し、東京国際映画祭ニッポンシネマナウ部門、サンダンス映画祭in東京を企画するなど映像作家発掘に尽力する一方で自身も創作活動を開始。99年犬童一心監督『金髪の草原』にて脚本家デビュー。ゆうばり国際映画祭ヤングシネマグランプリ受賞。以後『オー!マイキー』(05~10 / TV)三池崇史監督『殺し屋1』(01)など話題作の脚本を手がけ、カンヌ国際映画祭に招待された脚本作である三池崇史監督『極道恐怖大劇場 牛頭GOZU』(03)ではブリュッセル国際映画祭最優秀脚本賞を受賞。05年浅野忠信・哀川翔主演『東京ゾンビ』で劇場長編映画監督デビュー。坂本龍一総合監修『にほんのうた 春の小川』(11)ではオーバーハウゼン国際短編映画祭にて審査員特別賞を受賞。対戦型番組『Eテレジャッジ』において脚本・演出『谷グチ夫妻』が初代優勝企画となり、NHKどーがステーションランキングにおいて30週間連続通算再生ランキング1位となる。現在、NHK満島ひかり主演『シリーズ江戸川乱歩短編集』、池松壮亮主演『シリーズ横溝正史短編集』の脚本・演出を手掛けるほか、役者としてもクエンティン・タランティーノ監督『キル・ビル』(03)、小林聖太郎監督『破門 ふたりのヤクビョーガミ』(17)、黒沢清監督『スパイの妻』(20)などの映像作品にも出演。近年脚本作は成田凌、黒木華主演朗読劇『湯布院奇行』(土井裕泰演出/21)、池松壮亮主演『横溝正史・女怪』(監督兼/22)。

[脚本コース初等科 日曜(佐藤)クラスの受講必要条件]

- ・提出原稿はWordファイル使用可能なワープロソフトを使用のこと。手書き不可。
- ・インターネット環境があること。メールとクラウドを使います。

日曜クラス(佐藤佐吉クラス)カリキュラムについて

毎週日曜 16:00～18:30

回数	日付	講義	課題・その他
1	5/1	映画と脚本(初等科の目標について)	2人芝居を書く
2	5/8	5分作品の研究(作品視聴・解説)	既存作品を参考にシナリオを書く
	5/14	※共通講義1	
3	5/15	テーマ、キャラクター、プロットとは①	提出課題の公開添削
4	5/22	テーマ、キャラクター、プロットとは②	提出課題の公開添削
	5/28	※共通講義2	
5	5/29	テーマ、キャラクター、プロットとは③	提出課題の公開添削
6	6/5	5分課題プロット①	提出課題の公開添削
7	6/12	5分課題プロット②	提出課題の公開添削
	6/18	※共通講義3	
8	6/19	5分課題脚本①	提出課題の公開添削
9	6/26	5分課題脚本②	提出課題の公開添削
	7/2	※共通講義4	
10	7/3	5分課題の制作実習について	5分課題お題発表/シナハン
	7/9	※共通講義5	
11	7/10	5分課題撮影実習にむけて	5分課題提出日
	7/16	※共通講義6	
12	7/17	5分課題:シナリオ選考・班分け・ミーティング	15分課題概要提示
	7/24	5分課題・撮影準備(※)	撮影に向けての準備
13	7/30・31	5分課題:撮影実習(※)	撮影日
	8/7	5分課題:編集(※)	
14	8/14	5分課題 完成上映会	講評
15	8/21	15分作品の研究(作品視聴・解説)	
	8/27	※共通講義7	
16	8/28	15分課題プロット①	提出課題の公開添削
	9/3	※共通講義8	
17	9/4	15分課題プロット②	提出課題の公開添削
	9/10	※共通講義9	
18	9/11	15分課題シナリオ①	提出課題の公開添削
19	9/18	15分課題シナリオ②	提出課題の公開添削
	9/23(金)	日曜クラス15分課題締め切り(講義なし・メールでの提出)	
20	9/25	シナリオの落とし穴	
	10/8	※共通講義10/15分課題講評会	

※5分課題の撮影実習の「撮影準備」「撮影実習」「編集」では、班ごとに準備・実習・編集を行います。※「共通講義10・15分課題講評会」は、両クラス担当講師及び高橋洋主任講師の3名による優秀シナリオの選考・講評会となります。

脚 本 コ ー ス

第 12 期 初 等 科 (前期)

募 集 要 項

■ 受講期間：木曜夜クラス：2022年4月28日(木)から2022年10月8日(土)
日曜クラス：2022年5月1日(日)から2022年10月8日(土)

■ 受講資格：18才以上(学歴、経験の有無は問いません)

<オンライン講義での受講条件>

※WEB上のオンライン会議サービスを使用するため、Wi-Fi環境を推奨します。

※DropboxやGoogleDriveなどのクラウドを使用することがあります。

■ 募集人員：木曜夜クラス36名/日曜クラス36名(最低開講人数：各クラス19名)

■ 講義日程：木曜夜クラス19:00~21:30、日曜クラス16:00~18:30、共通講義を土曜日13:00~16:30に行います。
※講師の都合により講義日程や講師に変更の可能性があります。ご了承の上お申込み下さい。
※期の途中でのクラス変更は出来ませんのでご注意ください。

■ 講義回数・受講料：全30回/135,000円(保険料込/税込)※分割でのお支払いもごさいます。

■ 入学登録料：10,000円(税込)※映画美学校通年講座をはじめて受講される方のみ

※受講料の分割払いでのお支払いにつきまして

67,500円を前払い(映画美学校を初めて受講される方は77,500円) 残額67,500円が分割払いになります

お支払回数	金利	合計金額	前払金	残額	分割払利息	分割支払金合計	毎月の引き落とし金額
5	4.20%	135,000	67,500	67,500	2,835	70,335	14,067

(単位：円/税込)

■ 教室：木曜夜クラス・日曜クラス：オンライン

共通講義：オンライン(状況により登校と併用の可能性あり)

登校が可能な場合：映画美学校(渋谷) 渋谷区円山町1-5 KINOHAUS B1F

■ 受付期間：2022年4月14日(木)20:00まで

(尚、締切日以前に定員に達した場合は申込受付を締め切らせて頂きます)

■ 申込方法：オンラインによる申込

映画美学校ホームページよりお申し込みください。簡単な選考のうえ、合格者には、合格通知と受講手続きのご案内を、申込受理から一週間以内にメールまたは郵送いたします。

■ 受講手続：合格通知を受領後、受講料、登録料の合計金額145,000円(消費税込)を指定の期日までに、指定の銀行口座にお振込下さい。入金を確認された時点で申込み受付完了となります。

※一旦納入された受講料等は原則として返金できません。

映画美学校約款

■ 受講上のご注意

- ◎ 講義の写真撮影、録画、録音はご遠慮ください。
- ◎ 持病のある方、あるいは体調不良になられた方は事務局にご相談下さい。
- ◎ 講義の際に使われる各種の機材・備品などの取り扱いは十分に注意して下さい。機材や備品を大切にすることは映画づくりの基本です。
- ◎ 館内での私物の管理は、各自で責任を持って行って下さい。賠償の責は負いかねます。また、受講生本人の不注意による事故や物的損害に対しても同様です。
- ◎ 当校は現役の映画人に講師をお願いしておりますので、講師のご都合またはやむを得ぬ事由により、講師やカリキュラムを変更することがあります。また、交通機関の混乱や、天災地変などやむを得ない事情で、カリキュラムを変更する事があります。
- ◎ 各コースのカリキュラムは、講師陣により日々検討を重ねております。そのため、要項に記載のカリキュラムが若干変更・修正される可能性もございます。変更・修正の際は理由を説明いたします。
- ◎ 急なカリキュラムの変更等、当校より緊急連絡をさせていただいております。ご登録の氏名・住所・連絡先等に変更があった場合は、すみやかに事務局にお知らせ下さい。
- ◎ 受講希望者が一定の人数に達しないクラスは、開講を見合わせる場合もあります。

■ 受講取消の扱い

- ◎ いったん納入した受講料は、原則としてご返金できません。各講座の予算は講師陣と事務局が協議して慎重に確定いたしますので、その後のキャンセルはカリキュラムの実現に重大な支障を来します。ただ、病气や転勤など、当校がやむを得ないと認めた場合は、開講日以前であれば下記の計算方法でご返金いたします。その場合、医師による診断書や勤務先の辞令(コピー可)など、受講不可能となった事由を証明する書類をご提出下さい。

■ 受講開始日より起算した返金額

30日前まで：全額の90%

29日前～14日前まで：全額の75%

13日前～7日前まで：全額の50%

6日前～1日前：全額の25%

なお、講義開始後のお申し出は、お受けできません。

■ 安全面について

- ◎ 映画の撮影時には、スタッフ、キャストともに目の前のことに集中するので、事故が起こりやすいものです。事務局から配布される注意事項をよく読んで厳守し、撮影にかかわる人たち全員が安全面に配慮することで、絶対に事故を防ぐようにして下さい。将来、講座修了後も、映画を制作し続ける限り、一番大切なことです。なお、注意事項に書かれていないことは、遠慮なく事務局にご相談下さい。
- ◎ 非常口、避難通路などは事前にご確認下さい。災害が発生した場合は、必ず係員の指示に従って行動して下さい。

■ 著作権について

- ◎ 本校のカリキュラムの一環として制作された画像、動画、サウンド等の著作権は基本的に映画美学校に帰属します。従って、それらの全部又は一部および、講義風景等を録画・録音したものの全部又は一部を、本校の広報・業績・紹介目的のため、任意かつ無償で利用することがあります。その際、著作者の氏名の表示を省略することもあります。諸般の事情により支障のある方は、開講してなるべく早い時期に事務局にご相談下さい。なお、利用にあたっては、第三者の著作権、商標、名誉、信用、肖像権その他の権利を侵害しないように細心の注意を払います。

■お申込み・お問合せ

特定非営利活動法人 **映画美学校**

〒150-0044

東京都渋谷区円山町1-5 KINOHAUS B1F
(渋谷・文化村前〈松濤郵便局前〉交差点左折)

TEL 03-5459-1850 FAX 03-3464-5507

<http://www.eigabigakkou.com>

受付時間(月~土) 12:00~20:00

